

## 令和6年度 成瀬台中学校 学校評価アンケート分析

### 〈保護者の意見〉

#### 【教育方針等全般】

設問 2、3、4に係る地域・保護者との連携・協力。学校公開に関して、全て 90%以上の肯定的な評価がある。その中でも、ホームページや tetoru、学校・学年だより等による情報発信は 93%、学校公開・教育活動の公開は 97%と肯定的評価は高い。設問 11のきまりを守ることで 85%の肯定的評価であるのに対して、設問 14のネットマナーが身に付いていることについては肯定的評価が 70%にとどまっている。

設問 12のあいさつの励行については 90%、設問 18の校内整備・校内美化については 89%の肯定的評価から、生徒が落ち着いて学べる学習環境の維持に学校は努めていると評価されている。

#### 【学校行事】

体育祭や合唱コンクールに生徒が全力で取り組んでいる様子が保護者や地域に伝わっており、その背景にある学校（教職員）の努力が評価されている。生徒の心身の負担軽減のために行事内容の精選は課題となっているが、生徒の主体性を伸長すること、協働的な学習になること、何より生徒に達成感を味わわせることを目的にして、学校行事を企画運営することが保護者から求められている。

昨年度の反省を踏まえて、体育祭では保護者の参観エリアを整理して、公平性が保たれた。また、合唱コンクールでは保護者の入場時に二次元コード読取システムを導入したことで、短時間で円滑な誘導ができた。両行事の課題として周知方法が不十分であったため、来年度はホームページや tetoru で早めに連絡するなどの改善が必要である。

#### 【学習・読書】

設問 5の「各教科の基礎的・基本的な事柄が身に付いている」では、77%と比較的高い（生徒肯定的評価は 90%）。各教科の授業内でタブレット端末を使う場面も増えており、設問 9の「（生徒は）ICTを積極的に活用している」では、75%の肯定的評価で昨年度より微増である。タブレット端末の管理やメンテナンスで困っている様子もあり、こまめな確認が必要である。ドリル学習ソフトのキュビナの効果的な活用方法も周知が不十分であるという側面も伺える。学習方法やノートの取り方など、定型の学習についても保護者からの要望がある。

設問 7「学校ですすんで読書を行っている」では 42%の否定的評価が示され（生徒否定的評価 41%）課題としては大きい。また、設問の英語学習に関する項目では、35%が楽しく取り組むことに課題があると感じており、ESAT-Jの練習や英語検定への支援とともに、自分の意見を英語で伝えられる活動を通して主体的に学びに取り組む態度を育成する必要がある。

#### 【生徒の様子】

設問 12のあいさつの励行について、生徒肯定的評価が 95%で高評価である。設問 11の学校や家庭のきまりを守ることについて、生徒肯定的評価が 95%、設問 14のネットマナーが身に付いていることについて、生徒肯定的評価が 92%であり、ほとんどの生徒の規範意識が高められており、望ましい成長が図られていることが分かる。一方で設問 10のいじめ防止や人権教育に関する項目に示される 22%の生徒に対しても心に寄り添い、一層丁寧な対応と支援が求められる。設問 19の「学校は楽しいと感じる」ことに生徒肯定的評価が 84%であることに満足することなく、残りの 16%の生徒も含め、誰一人取り残すことなく、学校生活満足度や安心度を高めることが課題である。

## 令和6年度 成瀬台中学校 学校評価アンケート結果をふまえて

〈学校として〉

### 【教育方針等全般】

学校からの情報発信として、ホームページのコンテンツの充実とアクセスの利便性を図り、学校だよりや各種広報のデジタル化を推進します。具体的には、教育委員会の通知や関係機関の情報の素早い公開、学校図書館の新刊本紹介、文部科学省推奨映画・東京都推奨映画などの紹介など、情報リテラシーの育成につながる広報活動に取り組みます。生徒が落ち着いた雰囲気の中で、安心して学校生活を送ることができるように、Wi-Fi環境の安定とともに校内整備・校内美化を維持します。

学校全体のあいさつに対する意識は高まってきています。今後も「（成瀬台中学校オリジナル）あいさつの歌」を活用しながら、あいさつの目的や効果など、生徒の自発的な行動につながる指導・支援を継続します。

生徒の声に耳を傾け、心情に寄り添って支援するための「成中タイム（教育相談活動）」を継続し、新たに「生活指導部ドラえもんボックス（教師間相談システム）◎藤子プロ・小学館」などの取組を行います。

### 【学校行事】

97%の生徒が学校行事を楽しみにしており、協働的な学習や異学年交流を通して成瀬台中学校の伝統を継承していこうとする姿勢があります。生徒実行委員会や生徒会の主体的な活動を支援し、予測困難な時代にあってもアイデアや工夫で乗り越えていく力の基礎を育成していきます。特に校外学習や宿泊的行事の企画・運営には教員負担軽減とともに保護者の経済的負担軽減の意識をもち、費用対効果を高めていきます。さらに、保護者来校時（外部会場入場時）のデジタルチケット配信を試行し、教育のDXを推進します。

特別支援学級設置校の利点として交流及び共同学習を推進します。通常の学級の生徒にとっては、生涯特性を理解し、偏見や差別を抱かないという人権意識を育てられ、特別支援学級の生徒にとっては、大きな集団の中で、様々な経験を通して、自己肯定感や自己有用感を高められる効果を教職員で共有し、意図的・計画的に展開していきます。

### 【学習・読書】

生徒指導提要に基づく、教科の指導と生活指導の一体化に来年度も取り組みます。教員が、学習指導と生活指導の専門性を合わせもつという日本型学校教育の強みを活かした授業づくりを行い、生徒の発達を支えています。

ドリル学習ソフトの効果的な活用や学習方法について、制作会社による説明会などを開催し、興味・関心を高めて家庭学習の充実を図ります。一方で、ノートの取り方や掲示物の作成などアナログ形式による学習効果も逃さず、指導・支援を行います。読書教育・図書館教育の充実を図るために、朝読書の徹底、ブックトークやビブリオバトルの取組等をとおして情操教育の充実、表現力の向上を図ります。

### 【生徒の様子】

来年度も引き続き、心の教育を充実させ、いのちの授業を推進し、自分と共に他人を大切にできる態度を育成します。言葉・授業・学習環境のユニバーサルデザイン化に取り組み、「安心・安全な学校」づくりを進めます。「町田市いじめ防止基本法方針」に基づいた組織的な対応やSOSの出し方に関する指導等を通して、学校は楽しいと感じる生徒率100%を目指します。